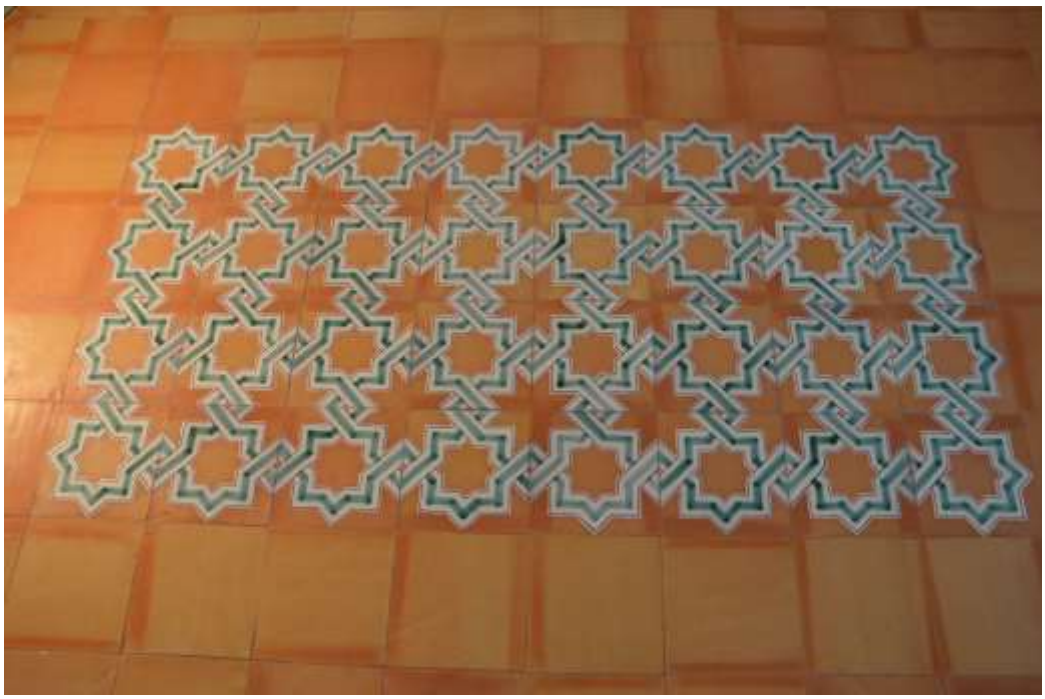
B & B 「エルコーレ・ディ・アマルフィ **Ercole di Amalfi**」へようこそ

BED&BREAKFAST
ERCOLE
DI AMALFI

B&B を始めたいという案は、随分前から家族の長であるレッロと皆の中にあり、
2014 年の 6 月にようやく民宿を開くことができました。
アマルフィ海岸を一望でき、陽のあたる美しいヴェッティカ・ディ・アマルフィにある
祖父母の使わなくなった自宅を改装して B&B を開きました。アマルフィと周辺の
観光地につながる道路に非常に近く、落ち着いて静かなひと時を過ごせます。

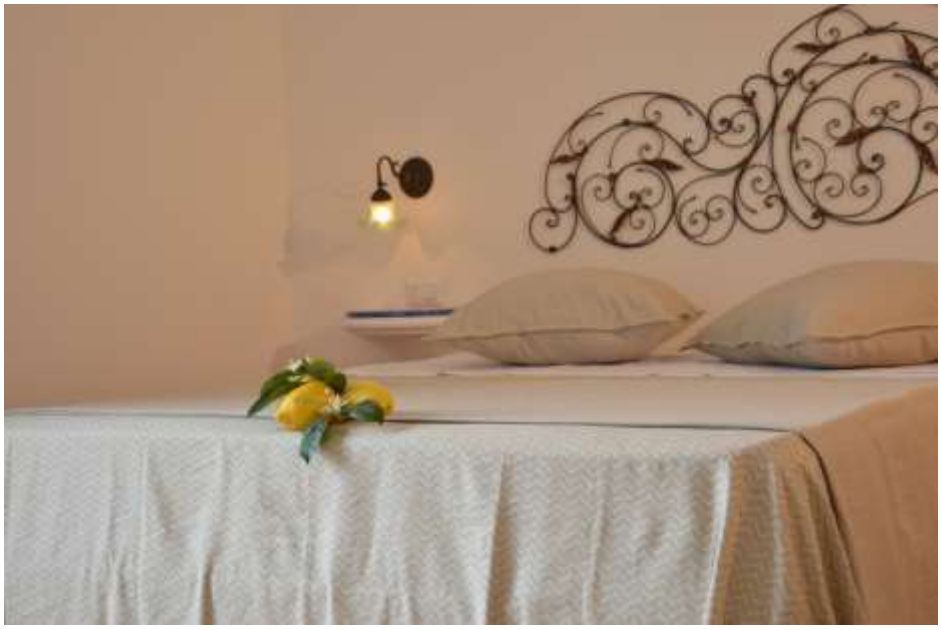
民宿の改装に必要な資材は、レッロのこだわりで地元の石、スレートと木材を使いましたが、彼自身もアマルフィ海岸一帯の伝統的な職人の間でとても知られています。各部屋の床には地元サレルノ県にあるルフォーリ・ディ・オッリアーラ社 (Rufoli di Ogliara)の上質な手作りテラコッタを使用し、その他の多くの飾りや置物はレッロによる作品です。

部屋タイプ:
エグレ (Egle): 一泊 100 ユーロ



エリツィア (Erizia)： 一泊 80 ユーロ

エスペラ (Espera)： 一泊 70 ユーロ



レッロと家族一同は、今の観光業では訪れる人に単に美しい場所を見せるだけでは不十分であり、より良い体験ができ、ずっと印象に残るサービス全般を提供することが大事と考えています。レッロが家族とともに B&B をまとめ、ご宿泊のお客様を家族の一員のようにおもてなし致します。

アマルフィにまつわる神話と今日の姿

私達の B&B「エルコーレ・ディ・アマルフィ」は、イタリア語で「アマルフィのヘラクレス」という意味ですが、このように命名した理由はどこにあるのか紐解いていきましょう。神秘的な魅力につつまれたアマルフィ海岸の起源は神話に隠れています。伝説によると、アマルフィの名前は、力の神ヘラクレスが心底惚れた妖精に由来すると言われています。その妖精が若くして亡くなったことに大変落ち込んだヘラクレスは、亡骸を埋葬する美しい場所を探したところ、海、空と自然が一体となるこの海岸に辿りつきました。

ヘラクレスは、ヘスペリデスの園から盗み出した（十二の難題の一つ）柔らかく、芳しく、そして太陽のように輝く果物がなる木を海岸沿いの街に植えることにしました。その果物こそが、今日世界中で大変知られているアマルフィ・レモンです。

このようにしてヘラクレスが愛する妖精を埋葬して、太陽輝く美しい街が出来上がり、アマルフィと呼ばれるようになりました。

そして今日、アマルフィに非常に近くて美しい町アトラーニには、ヘラクレスを思い起こさせる筋肉の美と情熱を持ち合わせた男がいます。彼こそ、私達の家族のレッロことラッファエーレ・クリスクオーロ（Raffaele Criscuolo）。

レッロはこれまで自分の腕一本で仕事を切り開いてきました。それは 11 歳の時まで遡り、いくつもの鞄を、中には最低でも 100 キロある物を担いで運ぶ父親の手伝いから始まりました。それからというもの、たゆまず歩み続け、その卓越した技術で 350 キロもの荷物を仲間と一緒に遠い道のりを歩いて運んだこともあります。一人でグランドピアノを抱えてアマルフィ大聖堂の階段を上がったほどの力持ちです！

歴史あるアマルフィとアトラーニを長年往復する中で、手先の器用さが要求される芸術作品にも強い関心を抱き、巧みな工芸品を作るようになりました。荷物の担ぎ職人を引退した今では合間を見つけては自宅の倉庫・工房にこもり、この土地の伝統を感じさせる作品を思いつくままに作っています。

私達の B&B のサイトにも掲載していますが、レッロの荷物運びの仕事に興味を持ったドイツのメディアが 2007 年にドキュメンタリー番組を制作しました。関連記事はこちら（ドイツ語）。
レッロの写真を見て、見覚えがある方もいるかもしれませんが、私達の B&B を日本のテレビ番組「小さな村の物語イタリア」のアトラーニ編で紹介して下さいました。
制作会社テレコムスタッフ様のサイト内でのお知らせはこちら：
http://www.telecomstaff.co.jp/blog/nowmaking/002715.php

このようにヘラクレスを彷彿させるレッロ、伝説が息づく美しいアマルフィ、
この二つにちなみ「エルコーレ・ディ・アマルフィ」と名付けました。

それではここからアマルフィの見所をご紹介しましょう。
アマルフィと言えば、草木の多いレモン果樹園、地中海特有の崖の間に生える木々、そしてこの土地ならではの海岸風景。私達の B&B「エルコーレ・ディ・アマルフィ」は心地よいひと時を過ごせるだけでなく、有名な観光名所へのアクセスも良いです。

歴史・芸術を感じる名所
世界中で最も有名な場所の一つアマルフィは、その目をみはる風景と由緒ある歴史で、1997 年にユネスコ世界遺産に登録されました。海岸一帯には一度は足を運びたくなる場所がたくさんあります。

- アマルフィ（聖アンドレア）大聖堂： 入口までの階段は美しく、聖堂内の地下礼拝堂には聖アンドレアの頭が保存されています。

- 海洋共和国時代の造船所： 現在は博物館になっており、世界で初めて制定された航海法(ターブラ・デ・アマルファ) の資料が公開されています。年間通して様々な文化行事が催されます。

- サンタ・マリア・マッジョーレ教会： アマルフィにある教会の中で二番目に古く、その隣には 1765 年に建てられたアッドロラータ教会があります。

- アマルフィ紙の博物館： 手作りのアマルフィ紙の作り方を学べる面白場所です。

- アトラーニのサンタ・マリア・マッダレーナ教会： 中世時代（1274 年）に建てられ、その後にバロック様式とロココ様式の要素が合わさった美しい教会です。褐色の凝灰岩でできた美しい鐘楼もあります。

- アトラーニの聖サルヴァトーレ・デ・ビレクト教会：アマルフィ共和国の総督の戴冠式が行われた伝統ある教会。もともとは礼拝堂として建てられ、コンスタンチノープルで鋳造された青銅のファサードで知られています。

- ラヴェッロのルフォーロ邸とチンブローネ邸： 美しい庭園に囲まれた見事な邸宅で、その景観はワーグナーをはじめとする偉大な作曲家の創作に影響を与えました。

チンブローネ邸（写真提供：Foto Scala）

- ポジターノの聖マリア・アッスンタ教会： ポジターノの中心地にあり、街の美しい地平線を一望できます。

ポジターノ（写真提供：Foto Scala）

- プライアーノの聖ジェンナーロ教会： 街の広場にあり、主なバカンス期間には街全体が光に包まれます。

教会と夏の光の祭り「サン・ドメニコのルミナリア」（写真提供：Foto Scala）

ワインと食べ物

アマルフィ海岸が知られているのは豊かな歴史と文化だけでなく、素晴らしく美味しい食べ物もあります。この土地で実際に見て、味わうべき物が多く、中には昔から続く祭日と関係する物もあります。

味わっておきたい物

- 保護地域指定表示(IGP)に指定されているアマルフィレモン「スフサート・アマルフィターノ sfusato amalfitano」。この香り高いレモンは、果実が紡錘形（イタリア語でアッフソラート affusolato）であることから、このように呼ばれています。地元の特産物リモンチェッロ、レモンクリームやレモンジャムには大事な原材料です。

- フローレとトラモンティ産のワイン。構造がしっかりとしていてフルーティーで、世界のコンクールで賞をとることもあります。

- チョコレートがけのナス。マイオーリの名物で、夏と聖母被昇天祭（8 月 15 日）に食べます。

- ンドゥンデリ・ミノーリ（ndunderi Minori： ミノーリという町の名物パスタ）。

- 小さく切った生地に柔らかいチーズを混ぜ、豚肉のソーセージか牛肉のトマトソースで味付けします。

- サルキアポーネ（カボチャに挽肉、チーズを詰めて、たっぷりの油で揚げてからオーブンで焼く）：7 月 22 日の聖マグダラのマリアの日に食べる習慣があります。

- チェターラの漁師が調理するアンチョビとマグロ。塩漬けのアンチョビ、イワシの魚醤「コラトゥーラ・ディ・アリーチ」はパスタ、サラダやブルスケッタを引き立ててくれる調味料です。

- ラッターリ山域内のチーズ「プロヴォローネ・デル・モナコ」。糸をひくように伸びるこのチーズはとても濃厚で、果物の甘煮や地元のハチミツとの相性が最高です。

- フローレの名産品ピエンノロ・トマト（D.O.P.・保護指定原産地呼称）。ピエンノロ（piennolo）はナポリ方言で「吊るす」という意味で、小さなトマトを房にして吊るすことからこの名前がつきました。サラダやパスタにピッタリの食材です。

ハイキングコース

アマルフィ海岸にはリラックスしたり、観光やスポーツを楽しめる場所が数多くがありますが、トレッキング好きの方々がこの一帯の美しさを堪能できる散歩道もあります。イタリア山岳クラブ（CAI）がお薦めするコースは愛好家たちに絶賛されています。その中で私達がお薦めしたい場所をご紹介します。

- ポントーネ近くのズィーロ塔（Torre dello Ziro）： アトラーニ、アマルフィのどちらからでも行けます。塔の上からは息を呑む景色を一望できます。

- 神々の道（il sentiero degli Dei）： 数年前に美しさが再発見され、フローレからマイオーリといった様々な地区につながっています。険しい道が続きますが、到達してから絶景を見ると、頑張った甲斐があったと実感できることでしょう。

- ラヴェッロにあるカローサの泉： カローサの名は、聖母マリアのお告げに従い掘った時に奇跡的に現れた水源にちなみます。そこに捧げられた小さな祭壇を地元や外国からのハイカーが訪れます。

それでは、太陽の輝く美しいアマルフィで皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

Ercole di Amalfi

住所	Via Giovanni d'Amalfi, Amalfi
ウェブサイト	http://www.ercolediamalfi.it/
メール	info@ercolediamalfi.it
Facebook	https://www.facebook.com/ercolediamalfi